

令和6年度第1回徳島市地域公共交通会議 会議録

日時:令和6年12月25日(水)午前10時～

場所:徳島市役所 本庁舎13階 第一研修室

- ・欠席者 1人
- ・傍聴者 0人
- ・市政記者 3社

【会議次第】

- 1 開会
- 2 会長あいさつ
- 3 協議事項
- 4 その他
- 5 閉会

- 1 開会
- 2 会長あいさつ

会長 本日は、委員の皆様におかれましては、ご多忙の中、ご出席を賜り厚くお礼申し上げます。また、日ごろから、本市の交通行政をはじめ、市政各般にわたり格別のご理解とご協力を賜っておりますことに、この場をお借りしてお礼を申し上げます。私は、6月に第二副市長に就任し、本会議の会長を務めさせていただくことになりました。会長として職責の重さを感じますとともに、本会議の運営がスムーズに運びますよう、皆様のご協力をお願い申し上げる次第でございます。さて、本市の公共交通の中心である路線バスについては、コロナ禍前までの利用水準には回復しておらず、また運転手不足や物価高騰などの影響を受けており、厳しい状況が続いております。こうした中、本市においては、令和6年3月に「徳島市地域公共交通計画」を策定し、「世代を超えて柔軟に対応できる、持続可能な公共交通の再構築」を目標に掲げ、まちづくりと連携した、公共交通の再構築に取り組んでいるところでございます。本日の会議では、徳島市バスの路線再編案のほか、国庫補助金の事業評価について、ご協議を賜りたいと存じます。委員の皆様におかれましては、十分にご審議をお願い申し上げます。簡単ではございますが、あいさつといたします。どうぞよろしくお願い申し上げます。

3 協議事項

- (1) 徳島市バスの路線再編について
- (2) 国庫補助金事業に関する事業評価について

<事務局説明> 資料1、参考

- (1) 徳島市バスの路線再編について

会長 ただいま事務局から説明のありました内容につきまして、ご質問等はございませんか。

委員 3点ございます。まず1点目ですが、今回重複しているということで、減便をここで提示していただきましたが、重複している場合、ダイヤ見直しでの重複解消できると思いますが、なぜ重複解消で減便されるのか、という理由の説明がなかったように思います。そちらを示していただきたいというのが1点目です。
2点目は、減便は徳島駅から上鮎喰回転場までの減便になりますが、現状では土日と平日の差が多少減っていますが、かなり土日の減便を進められたという案です。こちらなぜ土日の減便を多くされるのか、という説明もなかったように思っております。こちらの理由について説明していただきたい。
3点目ですが、パターンダイヤ化を進めることで減便を効率よく運用されるということをおっしゃっていただきましたけれども、別紙5をみると徳島から蔵本間の交通について、間隔がそろっているようにみえないのですが、こちらの理由、難しいのかもしれませんが、その点、教えていただきたいのと、パターンダイヤ化を進めたとおっしゃっていたのですが、この資料だけを見ると、あまり進んでいないように思います。ということで教えていただきたいと思っております。以上です。

事務局 まず、ご質問いただいた1点目ですが、重複路線の減便についてですが、やはり平日の特に朝の便につきましては、運行が過密化している時間帯になりまして、バスが朝、渋滞の影響もありまして、団子状態に運行するということがやはり多く見受けられます。どの便にとっても、特に上り便でしたら徳島駅に到着する場合は、1番最初に停留場を通過する最初のバスにどうしても乗客が集中するというので、2台目3台目以降に逆に、人があまり乗っていない、という状態がございますので、そのため乗車機会の均等化を図ることで混雑を解消し、効率化を図るということで一部減便させていただいております。そういうふうにしていただきたいと考えております。

2つ目の土日祝日の減便につきましては、通勤通学に使われる方が平日より少

なくなっている、ということが1つございます。それと運転手の方の労働の基準、確保、そこで減らせていただいている、運行事業者さんとも相談しながら決めさせていただいている、ということでございます。

パターンダイヤ化のところでございますが、朝と夕方が一番利用時間が多い通勤、通学時におきましては4分30秒くらいの間隔、4分くらいの間隔で設定させていただいております、おおよの7時10分や15分、JR とかよりは、パターンダイヤ化にしたい部分もございますが、その辺は今後、運行事業者さんとも相談させていただきながら進めさせていただけたらと思います。

委員 今回、1つ目2つ目の質問に関してはお答えいただきましたが、できるだけ、こういう特に減便の場合、何か理由が分かるような資料を付けていただくのが適切ではないかと思いました。これは感想です。

3つ目、パターンダイヤ化を進めるのはかなり難しいと思いますが、これを進めることで随分と、「いつでもどれだけ待ったら乗れる」というのが分かっていると使う気になるので、「いつまでたっても来ないからやっばりやめよう」というふうになってしまうと思います。もう少し、「いまドコなん」を周知する方法も含めて、検討いただきたいと思います。以上です。

会長 ありがとうございます。なかなか難しいところもあると思うんですけども、頑張っただけならと思います。1番目と2番目のわかる資料ということで、確かに朝だったら3台とか行って、1台当たりだいたい平均したらこれだけ乗る、さっと立って乗るような状況になる、そういう集中などもあるので減便で、ということでございますけれども、なかなかわかる資料というのが難しいと言いますか、そういう部分もあるかと思いますが、できるだけそういう資料があれば、よろしくお願ひしたいと思います。

他に何かありますでしょうか。

委員 重複路線をどうにかするという事は、よく理解できますが、市民の目線で質問させていただきたいと思います。1つは令和7年4月1日から実施することになってますけれども、各停留所にある時刻表は、それまでに間に合うのか、というのが第1点。

2点目として市民に周知徹底をそれまでにできるのか、というのが第2点。

それと第3点として市バスが発行している定期券、それから高齢者に発行している乗車証は徳島バス等に利用できるように考えていただかないと、今までこの近くに来ていたのに、このバスが乗れない、定期券が使えない、というので

は困る。だからその3点について質問をしたいと思います。お答えをいただけたらと思います。

事務局 時刻表の掲示につきましては、運行事業者の方とも相談しながら、4月1日に必ず間に合うように調整させていただきたいと考えております。周知ですけれども、今回、資料1のスケジュールにもお示しさせていただいているとおり、2月頃から広報やホームページ等を通じて周知させていただきたいと考えております。最後に高齢等無料乗車証につきましては、高齢者の方々などの移動手段、利便性の確保を図る必要があることから、関係部局とは利用の拡大も含めまして、検討を進めていきたいと考えております。以上でございます。

会長 確かに、おっしゃる通り高齢者の乗車証もそれぞれで使えたらいいなとも思いますけど、色々と検討していただけたら結構です。よろしく願いいたします。

他になにかありますでしょうか。

委員 数点お伺いしたいんですけども、この案でいきますと、かなりの市バス路線が、上鮎喰路線がかなりの減便となっているんですけど、特に上鮎喰回転場につきましては結構広い敷地でありますし、そこで朝、小学生のお子さんが父兄のかたに送っていただいて乗られるとか、通勤に家族を送ってきて乗られる、さらには車椅子の方もかなり乗られている、というような状況だと思うんですけど、それでかなり減便、特に朝のところが減便になっておりますので、こういったことの影響は、どういう影響がでていくのか、またその影響をどういうふうに対応していくか考えておられるのか。

それとまた2点目が、今度駅に向かっていく方は、ある意味便数は一定確保されているんですけども、逆に帰られるとき、駅前から乗られる時って市バスのホーム乗り場と徳島バスさんの乗り場って分かっているんですけど、そういったところで乗車される方が混乱しないのかと、便数は確保しているんですけど、そこで乗り場が分かれていますので、なかなか分かりづらい、特に高齢者の方にとってはそれが負担になる。どうしても上鮎喰線でしたら、市バスの方でずっと待たれる現状が起りかねないのかなと。その辺の対応策をどう考えられているのか、ということ、さらには上鮎喰線の減便によりまして、通し便、先程報告ありましたように津田線と南海フェリー線の通し便がかなり無くなっていったということで、今後やはり通勤などで利用されていた方にはこういった対応をされていくのか、ということをお話していただけたらと思います。

事務局 ご質問いただきました1点目ですね、上鮎喰回轉場の減便につきまして、今回一番重複している路線、重なる路線につきましては、一番上鮎喰線が全路線のほとんどが多くの路線と重なっていることから、そのため他の路線を利用することも可能であり、減便の影響が小さいものと考えて、今回上鮎喰線の減便でダイヤ調整をさせていただくこととなりました。

今後、将来にわたりまして路線の維持をしていくためには、路線の整理・再編というものはやはり避けられないものと考えております。将来にわたって路線を廃止ではなく少なからず減便にはなるんですが路線維持を進めるために、今回、路線の整理・再編をさせていただくということで、一部利用者にはやはり少なからずご不便をおかけすることになるかと思いますが、将来にわたり路線を維持していくためにも申し訳ないんですけれども、ご理解いただいて、今回の路線再編をさせていただくこととなりました。

2点目なんですけど、駅前の徳島駅から発車する便は現在、徳島市バスと徳島バスと路線が分かれておりまして、乗り場所が違うことにもなりますので、また徳島バスとも協議を進めて分かりやすい表示にするんですけれども、現状としては、両方の乗り場にそれぞれの市バスのところには徳島バスのダイヤ、徳島バスのところには市バスのダイヤを配置しまして、一番近いところに行ってくださいような形で対応できないかと考えております。またより利便性を図れる取り組みがあったら運行事業者とも協議を進めていきたいと考えております。3点目なんですけど、通し便の減便ということになるんですが、今回は通し便そのものを大きく減便するというわけではなく、徳島駅を通過して上鮎喰線と同区間を運行しているところを徳島駅前止まりに一部見直していただくということから、全体の本数そのものに大きく影響することはないと思います。一部利用者の方には、一回降りていただいて、また乗車していただくこともあることから、少なからず不便な部分、ご迷惑をおかけする点もあると思いますが、将来の路線の維持、確保をするためにご理解いただきたいと思っております。

委員 ありがとうございます。今回のこの再編をみていましたら、駅から蔵本までの間を主に中心に考えられているのかな、というふうに感じます。それから、蔵本から西の方、いわゆる上鮎喰の方面のほうっていうのはかなりの減便をされていて利便性が下がっていた、というところがありますし、これっていうのは上鮎喰地区のその辺の方の住民説明会とかはされるんでしょうか。

事務局 今回の路線再編を行う時に、その地区のコミュニティ協議会にはご説明させていただきました。住民説明会としましては、まだ確定はしていないのでまた検

討事項とさせていただきたいと思います。

委員 やはり丁寧に説明していかないと、この先で、結構大きな問題になっていくと思います。さらに今後持続可能な公共交通再構築ということで、これからさらに再編が進んでいくと思うんですけど、やはり最終的にどういうふうな姿をしていく、描いていくのが重要になってくると思います。今のままでいきましたら、単発的に提示されていていて、というような感じで捉えておりますので、徳島市として最終的にどういった交通網を維持していくのか、さらに減便したところをどういうふうに対応、交通の代替え手段を考えていくのか、ということもみられていくと思います。地域公共交通計画のなかでも再編っていうのはでておりますけど、一方で利便性確保というのも謳われておりますので、やはり平行してそこは対応していかなければならないと思いますので、今後も利便性のほうも重視して行ってほしいというのもお願いしたい。またよろしく願います。

事務局 おっしゃる通り路線の整理・再編を進めていくなかで、またお示しをさせていただきたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

会長 その他何かありますでしょうか。

—意見なし—

会長 それでは他にご質問等ないようですので、事務局案のとおり、ご承認いただいでよろしいでしょうか。

— 承認 —

会長 ありがとうございます。それではご承認いただきましたので手続きを進めさせていただきます。今ご意見がありましたように、また今後検討をさせていただきたいと思います。
続きまして協議事項2の国庫補助事業に関する事業評価の実施について事務局から説明いたします。

<事務局説明> 資料2

(2) 国庫補助事業に関する事業評価の実施について

会長 ありがとうございました。
 ただいまの内容につきまして、ご質問等はございませんか。

会長 これは評価 A ということで今後も引き続きやっていくということでよろしいですか。

事務局 その通りでございます。

会長 他に何かありますでしょうか。

— 意見なし —

会長 ご意見等もないようですので、事務局案のとおり、ご承認いただいでよろしいでしょうか。

— 承認 —

会長 ありがとうございました。
 それでは、ご承認いただいた内容で国に提出いたします。

4 その他

会長 本日予定していた議事は以上でございますが、その他ご報告などはございませんか。

交通局 <交通局による報告>
 徳島市交通局経営計画「後期経営計画」(素案)について

会長 ありがとうございました。
 他に何か報告等ございますでしょうか。

— 報告なし —

会長 それでは、本日協議事項等以上でございますが、何かご意見等ございましたらお願いします。

— 意見なし —

会長 それでは、事務局に進行をお返ししたいと思います。委員の皆さまには、議事の円滑な進行にご協力いただき大変ありがとうございました。今後ともよろしくお願ひ申し上げます。

5 閉会

事務局 本日は貴重なご意見・ご協議ありがとうございました。それでは、ただいまをもちまして、本日の会議を閉会いたします。ありがとうございました。

以上